



令和7年度 学校だより
大阪市立豊里南小学校
2月号
2026年 2月2日

「子どもから学ぶ大人」であり続けるために

先日、東淀川区の教員研究発表会があり、本校の研究部の先生方が東淀川区の全小学校の先生方に向けて、今年度の取り組みについて発表しました。

テーマは、「探究的な学びにおける自立した学習者の育成」です。自分と向き合い、自分で考え、自分を高めていく子どもたちを育成したいという思いで始めた研究の成果と課題について発表しました。発表のプレゼンテーションの最後のページは、以下のようになっています。

ご覧のとおり、今後の課題は、私たち「教師の役割の変換」です。

本校は今年度、大阪市の生成 AI パイロット校として、学習に生成 AI ソフトを活用しています。

ある日の授業で生成 AI について話しているところ、ある子どもが、「じゃあ、もう先生いらんのちゃう？」と発言しました。周りの数名の子ども、「ああ、そうかも」と言っています。担任の先生は、「うーん、そうかもしれないね」と子どもたちの意見を認めつつ、少し複雑な表情です。

子どもたちの「先生いらんのちゃう？」発言から学ぶことがあります。それは確かに知識・理解だけなら AI には負けるでしょうし、「教える」だけなら AI の方が上手かもしれません。ただ、AI 時代に入った今、私たちには発想の転換が必要になるのです。

これまでの「教える」から「学ぶ・つなげる」への転換です。「ティーチャー」から「ファシリテーター」への転換です。「子どもに教える」ではなく、「子ども同士が学ぶ」への変換です。

「先生は君たちよりもたくさんの知識を持っているから聞きなさい」は、もう子どもたちには通用しなくなっていくと思います。「昔は本で歴史を勉強したんだって？」と珍しく思う時代が来るのも遠い話ではありません。ただ、インターネットが万能かというところではありません。ネットリテラシーや批判意識がなければ、根拠のない情報も鵜呑みにして信じ込んでしまいます。逆に言えば、情報をうまく操作すれば、みんなが簡単にだまされてしまう世界が広がってきたわけです。これは、とても恐ろしいことです。

このような時代背景や環境の下で教員の役割を問い直してみると、これからのテーマは、「教員が知識をどう教えるか」ではなく、「子どもたちの学びをどう育てるか」となります。つまり、「子どもを育てる」から「子どもが育つ」学校にしていかなければならないのです。

そのためにも、私たちは子どもにとって魅力ある教員、大人として、日々学び続けなければなりません。これからも「子どもから学ぶ大人」を目指して、学校づくりを前に進めていきます。

校長 森元貴子



スマホや SNS の使い方 だいじょうぶですか？

スマートフォンや携帯電話, SNS は,子どもたちの生活の中でも身近な存在となっています。一方で,使い方によっては,トラブルや心身への負担につながる事例も報告されています。本校においても, SNS へ友達の画像を無断でアップしたり,おもしろがってスマホを使って友達をからかったりするトラブルや,夜遅くまでの使用による生活リズムの乱れなどが心配される場面が見られます。

学校では,情報モラルの指導を通して,

- ・個人情報大切にすること
- ・相手の気持ちを考えて発信すること
- ・困ったときには大人に相談すること

などを子どもたちに伝えています。しかし, SNS や携帯電話の使用は,主に家庭での時間に行われるため,ご家庭での見守りやルールづくりが何より大切です。

つきましては,

- ・使用する時間帯や時間の長さを決めること
 - ・フィルタリングや見守り機能を活用すること
 - ・「何かあったらすぐ相談していい」という安心できる雰囲気をつくること
- などについて,改めてお子さまと話し合っていただければ幸いです。

子どもたちが,安心・安全に ICT 機器と向き合い,健やかに成長していくためには,学校と家庭が同じ方向を向いて支えていくことが大切だと考えています。ご理解とご協力を,どうぞよろしくお願いします。

塾代助成制度の申請はお済ですか？

先月もお知らせしましたが,大阪市では,小学5年生～中学3年生までの子どもたちに月額1万円分の学習塾や習い事の費用を助成する事業があります。収入の制限などはありませんので, **すべてのご家庭が対象となります。**

本校では,この制度を活用して, **実質無料で週二回,学校の多目的室で「こぶしのみのり塾」**を開講しています。学校の宿題はもちろん,授業などで分からなかったところも個別指導で教えていただくことができますので,勉強が苦手な子どもたちにはぜひ参加してほしいと思っています。もちろん,他の習い事にも使えます。

4年生から6年生までのご家庭でまだ申請がお済でない場合は,お早めに申請していただきますようお願いいたします。

区役所からの郵便を処分してしまったり,申請の仕方が分からなかったりする場合は,学校でパンフレットをお渡ししますのでご連絡ください。

< 2月行事予定 >

日	曜	学校行事・PTA等学校関係行事	終業時刻(放課後遊び)						
			A13時半B14時半(水金は14時50分)C15時30分						
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	遊び
1	日								
2	月	全校朝会 研究授業5-2(5限)	B	B	C	C	C	C	○
3	火		B	B	C	C	C	C	○
4	水	読み聞かせ5-2 ハンドボール出前授業4年生(3限) 社会見学3年生(くらしの今昔館)※給食なし スクールカウンセラー来校日	B	B	B	B	B	B	× 図書室 ○
5	木	児童集会 委員会	A	B	B	B	C	C	○, 1~4 ×
6	金	給食後下校 PTA役員会19時	A						×
7	土								
8	日								
9	月		B	B	C	C	C	C	○
10	火	卒業遠足(キッザニア) ICTアシスタント来校日	B	B	C	C	C	C	○
11	水	建国記念の日							
12	木	児童集会 クラブ活動最終	A	B	B	C	C	C	○, 1~3 ×
13	金		B	B	B	B	B	B	×
14	土								
15	日	地域防災訓練9時~13時(運動場、講堂)							
16	月	あいさつ運動~20日(金)	B	B	C	C	C	C	○
17	火	生成AI研究授業(5限1年、6限6年)	B	B	C	C	C	C	○
18	水	読み聞かせ6-1 スクールカウンセラー来校日	B	B	B	B	B	B	× 図書室 ○
19	木	児童集会	A	B	B	C	C	C	○, 1~3 ×
20	金	学習参観・懇談会	B	B	B	B	B	B	×
21	土								
22	日								
23	月	天皇誕生日							
24	火	スマホ安全教室KDDI4年(2限)※多目的室 ワクワクドキドキポスターセッション(4年) 残食0キャンペーン(~27日)	B	B	C	C	C	C	○
25	水	読み聞かせ4-1	B	B	B	B	B	B	○
26	木	児童集会 代表委員会	A	B	B	C	C	C	○, 1~3 ×
27	金	スクールカウンセラー来校日	B	B	B	B	B	B	×
28	土								

<お知らせとお願い>

○ 3年生 社会見学「くらしの今昔館」

2月4日水曜日に、3年生が社会見学に出かけます。社会科の昔のくらしの学習に伴い、大阪市立住まいのミュージアム「大阪くらしの今昔館」に行きます。ここは、大阪のまち・住まいの歴史と文化をテーマにしたミュージアムです。江戸時代の大坂の町並みを実物大に復元されていたり、明治・大正・昭和のまち・くらしを詳細な模型と資料で紹介していたりするところです。

○ 下校時刻変更

以前にメールでもお知らせしていますが、2月6日金曜日に、大阪市小学校教育研究会総合研究発表会があります。本校の教員も全員が参加する予定ですので、この日は、給食終了後13時30分ごろに下校となります。

お子さまの放課後の過ごし方についてご配慮ください。

なお、いきいき活動は、13時30分より参加することができます。

○ 6年生 卒業遠足「キッザニア甲子園」

2月10日火曜日に6年生の卒業遠足があります。

「キッザニア甲子園」は、3歳から15歳の子どもが主役の街で、警察官・パイロット・パティシエなど約100種類の本格的な仕事体験ができる職業・社会体験施設です。本物そっくりのユニフォームや設備で、「キッズ」という専用通貨を使って給料をもらったり、デパートで買い物やサービスを受けたりしながら、楽しみながら社会の仕組みを学べます。

施設内でクーポンを使ってお昼ご飯を食べますので、お弁当は必要ありません。朝の出発時刻に伴い、集合が早くなっていますので、お気をつけください。小学校での最後の思い出作りの行事ですので、体調を整えて参加ができるようにご配慮ください。

○ 今年度最後の学習参観・懇談会

2月20日金曜日が今年度最後の学習参観と学級懇談会となります。子どもたちの今の学年での成長ぶりをぜひご覧いただきたいと存じます。また、学級懇談会も今年度最後となりますので、多数の保護者の皆様にご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

○ 感染症予防に努めましょう

3学期が始まり、本校では今のところインフルエンザ等の感染症による学級休業等は出ていませんが、様々な地域でインフルエンザが流行し、学級休業等の措置もとられているようです。引き続き、十分な食事や睡眠、手洗いの励行など、感染症対策に努めていきましょう。